

第3章 本計画における本市のめざす姿

第3章 本計画における本市のめざす姿

Ⅰ 観光ビジョン

本市の魅力である海や山等の豊かな自然、開国の歴史、地域の文化等の資源を輝かせるとともに、市民一人ひとりがそれらの大切な資源を後世に受け継ぐよう郷土愛を育み、「住んでよかった」と思えると同時に、観光客も「訪れてよかった」と思える観光まちづくりを目指します。

そのため、本市の魅力を存分に活かし、市民や観光客のみならず、下田ファンを獲得するために、本市の魅力ある観光資源を活用し、人・歴史・文化をつなぐ観光まちづくりを推進するとともに、第5次下田市総合計画に掲げられたまちづくりの基本理念とまちの将来像を踏まえ、本計画における観光ビジョン「すべてがつながり 魅力輝く みなとまち下田」の実現を目指します。

基 本 理 念 下田を愛する、市民を始めとする幅広い人の参加により、
本市の持つ自然や歴史、文化を活用し、
市民一人ひとりが誇りを持って暮らすことのできるまちづくり

まちの将来像 時代の流れを力に つながる下田 新しい未来

～本計画における観光ビジョン～

すべてがつながり 魅力輝く みなとまち下田

2 基本方針

観光ビジョンの達成やまちの魅力をさらに輝かせる施策を実施するための基本的な方針を、第2章で示した「本計画における主要な課題」や新型コロナウイルス感染症拡大等による時代の変化を踏まえ、以下のように設定し、下田市の観光力の向上を目指します。

方針1 美しい海などの自然を生かした観光まちづくり

本市の美しい海は、夏季の海水浴客を中心に市内外に高い認知度があり、また、川端康成や三島由紀夫といった世界的に有名な文豪にも愛され、作品中に書かれるほどの美しさがあることから、観光の大きな柱であり市民共通の貴重な財産です。

市内外から高い評価を受けている美しい海を中心とした、四季折々の豊かな自然が楽しめる観光地づくりを推進するとともに、貴重な財産である豊かな自然の環境保全・整備を実施し、持続可能な観光地を目指します。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「密閉・密集・密接」を避けた開放空間での観光ニーズが高まっている中、本市の強みである恵まれた豊かな自然を活用し、自然体験型観光の充実や開放空間を活かしたコンテンツの開発等により、観光の魅力の磨き上げに取り組めます。



方針2 開国の歴史を中心とした観光まちづくり

本市には、幕末の米露の黒船来航により開国の地となったことから、了仙寺や玉泉寺を代表とした開国の歴史に関する重要な文化財があり、また古くは東西を船が行き交う海の関所であったことから多様な文化が交わる港町として発展してきた歴史があり、当時の風情を感じる街並みが数多く残されています。

さらに、開国の地に起因する市民間での国際交流始まりの地であることから、現在も黒船祭を中心とした国際交流の歴史があります。

それらの歴史的な文化財や地域特有の文化を活用するとともに、国際交流から培われたおもてなしの心を醸成し、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、貴重な財産を国内外に認知・定着させることを目指します。



方針3 人の流れを生み出す観光まちづくり

本市の市街地（旧町内）には観光施設やペリーロードを中心とした歴史を感じる街並みが数多く点在することから、まち歩きを推進し回遊性を高めるため、市街地を中心としたポケットパークやボードウォーク等の整備を実施してきました。本計画では、まちの周囲から街中への人の流入を促すため、まち歩き環境整備を進め回遊性の向上に継続して取り組むとともに、海の玄関口である「道の駅 開国下田みなと」周辺環境整備を実施し、陸域と水域を活用したネットワークを構築することによって、にぎわいの創出を目指します。

また、中心市街地だけでなく市内全域を巡って楽しめるよう、公共交通等の二次交通の利便性の向上を図ることで、回遊性のある観光まちづくりを目指します。



3 数値目標

5年後（令和7年度）の下田の観光のあるべき姿を表す数値目標を設定し、「すべてがつながり 魅力輝く みなとまち下田」の実現を目指します。

（1）観光交流客数

基準値 (平成30年度)	2,738,342 人	⇒	目標値 (令和7年度)	2,900,000 人
-----------------	-------------	---	----------------	-------------

（2）宿泊客数

基準値 (平成30年度)	1,004,110 人	⇒	目標値 (令和7年度)	1,080,000 人
-----------------	-------------	---	----------------	-------------

（3）外国人宿泊客数

基準値 (平成30年度)	7,921 人	⇒	目標値 (令和7年度)	10,000 人
-----------------	---------	---	----------------	----------

（4）下田市の観光消費額

基準値 (平成30年度)	13,100 百万円	⇒	目標値 (令和7年度)	15,000 百万円
-----------------	------------	---	----------------	------------

出典：（1）～（3）第2期下田市まち・ひと・しごと創生総合戦略、

（4）平成30年度 静岡県における観光の流動実態と満足度調査より、本市の観光交流客数で按分して推計

4 施策体系

先に示した観光ビジョンと3つの基本方針を実現するための手段である施策体系は次のとおりです。

施策体系図

